

| 授業科目名 | <b>看護とリスクマネジメント</b>  |          |  | 担当教員     | 倉岡 有美子 |
|-------|--|----------|--|----------|--------|
| 開講年次  | 2年前期   | セメスター    | 3  | 時間数(単位数) | 15 (1) |
| 必修選択  | 必修   | 授業形態     | 講義                                       | 使用教室     |        |
| 授業の目的 | 医療現場におけるリスクの特性やヒューマンエラーに関する基礎知識を学習し、看護業務におけるリスクの予見と対応方法を理解する。  |          |  |          |        |
| 到達目標  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療安全についての概要を知り医療安全を学ぶ意味を理解できる。</li> <li>2. 国の医療安全、医療施設におけるシステムを理解できる</li> <li>3. 事故発生のメカニズムとリスクマネジメントについて理解できる。</li> <li>4. 看護実践に伴い発生する事故事例とリスク管理について理解できる。</li> <li>5. 医療現場でのリスクマネジメントと看護の役割について考察できる。</li> </ol> |          |  |          |        |
| 授業計画  |  |          |  |          |        |
| 回     | 授業内容   | 授業方法     | 学修課題<br>(予習・復習)                          | 取組時間     | 担当者    |
| 1     | 医療安全とリスクマネジメントの概念<br>1) 医療安全と看護の理念<br>2) 医療安全への取り組みと医療の質の評価  | 講義       | 予習：テキスト第1章第2章を読み、インシデント・アクシデントの定義を調べておく。 | 1時間      | 倉岡     |
| 2     | 起こりやすい医療事故と対策1<br>【診療補助編】  | 講義       | 予習：テキスト第5章を読んでくる。                        | 1時間      | 倉岡     |
| 3     | 起こりやすい医療事故と対策2<br>【日常生活援助編】  | 講義       | 予習：日常生活援助実習におけるヒヤリ・ハット事例を振り返る。           | 1時間      | 倉岡     |
| 4     | 医療事故の発生のメカニズム  | 講義       | 予習：テキスト第3章を読んでくる。                        | 1時間      | 倉岡     |
| 5     | 医療事故の要因分析と対策<br>危険予知訓練 (KYT)   | 講義<br>演習 | 復習：事故要因分析方法について復習を行う。                    | 1時間      | 倉岡     |
| 6     | 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策<br>医療安全とコミュニケーション   | 講義<br>演習 | 予習：テキスト第7章を読んでくる。                        | 1時間      | 倉岡     |
| 7     | 看護学生の実習と医療安全   | 講義       | 予習：テキスト第9章を読んでくる。                        | 1時間      | 倉岡     |
| 8     | 医療事故に対する看護師の倫理的課題と法的責任<br>定期試験へのフィードバック  | 講義       | 予習：テキスト第1章、第2章を読んでくる。                    | 1時間      | 倉岡     |

|               |   |       |         |       |              |
|---------------|---|-------|---------|-------|--------------|
| 先行履修科目        |   |       |         |       |              |
| テキスト          | 松下由美子他編集：ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践②医療安全. メディカ出版, 2016.   |       |         |       |              |
| 参考文献          | 河野龍太郎：医療におけるヒューマンエラー. 医学書院, 2014.<br>中西睦子 編集：看護サービス管理 (第4版). 医学書院, 2013.  |       |         |       |              |
| メッセージ         | 人間はエラーを誘発しやすい特性を持っています。看護師は24時間・365日ベッドサイドで看護を行ない、患者の最も近くにいる存在です。患者も私たち看護師も安全で安心な環境で過ごすことができるように、医療安全の知識を深めていきましょう。       |       |         |       |              |
| 科目の位置づけ       | レベルⅡ～Ⅴの看護学実習において看護学生として主体的に医療安全に取り組むための基盤となる知識を養う。また医療安全は、職域を超えてチーム全体で取り組む必要があり、施設全体で医療安全を考えていくために、3年次の「看護管理」で継続的に学習していく。 |       |         |       |              |
| ディプロマポリシーとの関連 | 人間の尊厳と権利を擁護する力  | 自己教育力 | チームで働く力 | 問題解決力 | 看護の専門性を探究する力 |
|               | ○   |       | ◎       |       |              |
| 評価方法          | グループワークなど授業への参加度 (20%) 定期試験 (80%) により総合的に評価する。  |       |         |       |              |